

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	松本 真緒 (まつもと まお)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	修士課程 1 年
発表年月 または事業開催年月	2024 年 9 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本認知・行動療法学会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	松本真緒、七森真央、仁田雄介、熊野宏昭
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	セルフコンパッションの要素を含めた「想起視点機能尺度」の作成及びその信頼性と妥当性の検討
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>この研究では、PTSD (心的外傷後ストレス障害) の症状発現と維持に関わる「エピソード視点」を測定する尺度を開発した。特に、トラウマを抱えた個人が回避症状を軽減し、適応的な感情調整を促進する要因として知られる「セルフ・コンパッション (自己慈愛)」の要素を、既存の「エピソード視点機能尺度」(山口、2017) に取り入れた。</p> <p>調査は、致命的でないトラウマ体験を持つ 215 名の学生を対象に実施し、探索的因子分析を行った結果、6 つの因子構造が明らかとなった。これらの因子には以下が含まれる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他者アプローチ視点 (OA 視点) - 回避機能を伴う他者視点 2. 他者-時間視点 (OT 視点) - 時間的な隔たりを認識する視点 3. 鮮明な視点 (F 視点) - 記憶を生々しく想起する視点 4. 自己慈愛視点 (SK 視点) - 自分に対して優しい感情を向ける視点 5. 記憶視点 (M 視点) - 記憶をそのまま想起する視点 6. 共通人間性視点 (CH 視点) - 人間としての共通点を見出す視点 <p>これらの視点間の相関分析から、特に M 視点 が PTSD 症状に対して悪化と改善の両面の効果を持つことが示された。さらに、自己慈愛視点と PTSD 症状を測定する「IES-R」との間に相関が見られなかったことから、PTSD 症状の減少は視点そのものに直接よるものではなく、適切な視点を身に着けることで、柔軟な思考や感情調整が可能になることが関与していると考えられる。</p> <p>https://www.researchgate.net/publication/380263879_Development_of_the_Episodic_Perspective_Function_Scale_Incorporating_Elements_of_Self-Compassion_Examination_of_Reliability_and_Validity_Author?_tp=eyJjb250ZXh0Ijp7ImZpcnNOUGFnZSI6ImhvbWUiLCJwYdIIjoicHJvZmlsZSI6InByZXZpb3VzUGFnZSI6ImhvbWUiLCJwb3NpdGlvb2I6InBhZ2VDb250ZW50In19</p>	

※無断転載禁止